

道路事業の再評価概要書

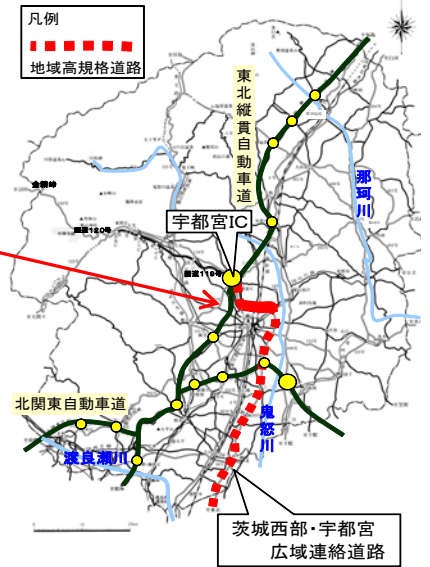
() は事前評価時

道路事業の再評価概要書			番 号	118
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般国道119号		事業箇所名	うつのみやし うつのみやかんじょうきたどうろ 宇都宮市 宇都宮環状北道路
事業区間	うつのみやし かみとまつりちよう 宇都宮市 上戸祭町 ひらいでこうぎょうだんち ～平出工業団地		事業延長	6,400m
H17年度事業化	S47年度都市計画決定 (H19年度変更)		H17年度用地着手	H18年度工事着手
事業期間	(H26) H17年度～H32年度		基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費]	[12.7(20.0)億円]		進捗率	
全体事業費	85.7(108.0)億円		[うち用地補償費]	[6.1億円] [48%]
		事業進捗状況	既投資事業費	29.1億円 34%
事業概要				
<p>宇都宮環状北道路は、県の総合計画に掲げるセンターコリドールの一部として広域的な交通を担う道路であり、圏央道（仮称）五霞ICと東北道宇都宮ICを結ぶ地域高規格道路「茨城西部・宇都宮広域連絡道路」のうち一般国道4号（新4号バイパス）と一般国道119号宇都宮北道路の間に位置する区間である。また、本道路は東北自動車道宇都宮ICと宇都宮市東部の産業団地群を結ぶルートとして県内外へのアクセスを担うほか、宇都宮環状道路（宮環）の北側の一部を構成することから通過交通を迂回させるなどにより宇都宮市街地の交通混雑緩和を担う道路である。</p> <p>しかしながら、新4号バイパスや宮環の各交差点の立体化が進む状況のなか、本道路の交差点は立体化がなされていないことから、走行速度が低く、交通混雑が激しく、交通事故が多い状況にある。</p> <p>このため、広域的な道路としての走行性を確保し、混雑解消による交通の円滑化を図るとともに、交通事故減少を図るため、主要な3交差点（関堀、下川俣、（仮称）北道路入り口）の立体化を進める。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
事業の投資効果				
<p>1 費用対効果分析結果 【総便益 (B)】 【総費用 (C)】</p> <p>(1) 事業全体 B/C= 1.9 144.9億円 76.5億円</p> <p>(2) 残事業 B/C= 2.4 109.0億円 45.9億円</p> <p>2 事業の整備効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路の一部としての広域的な交通の走行性確保 ・東北自動車道宇都宮ICと宇都宮市東部の産業団地群を結ぶルートとしての県内外へのアクセス強化 ・宇都宮市街地の交通混雑緩和 ・宮環の交通事故減少 				
事業の進捗状況等				
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関堀交差点 (0.3km) は、平成20年3月に立体化供用した。 ・下川俣交差点 (1.0km) は、平成21年度に本格的に用地取得に着手し、現在橋梁工事を推進している。 <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下川俣交差点は、工事を推進し平成25年度に立体化供用を図る。 ・（仮称）北道路入り口交差点は、下川俣交差点供用後に工事着手し、平成32年度に立体化供用を図る。 				
コスト縮減等				
<p>1 コスト縮減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを縮減 ・橋梁の構造を工夫しコストを縮減 <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定の諸手続きを経て、立体化、ルート、車線数及び幅員を決定し、事業を実施している。また、大部分の用地を既に取得していることから、代替案立案は困難である。 				
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

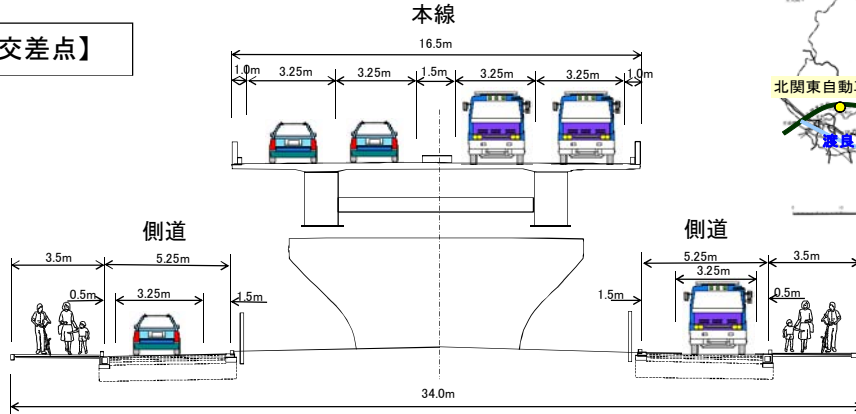
位置図

一般国道119号
宇都宮環状北道路

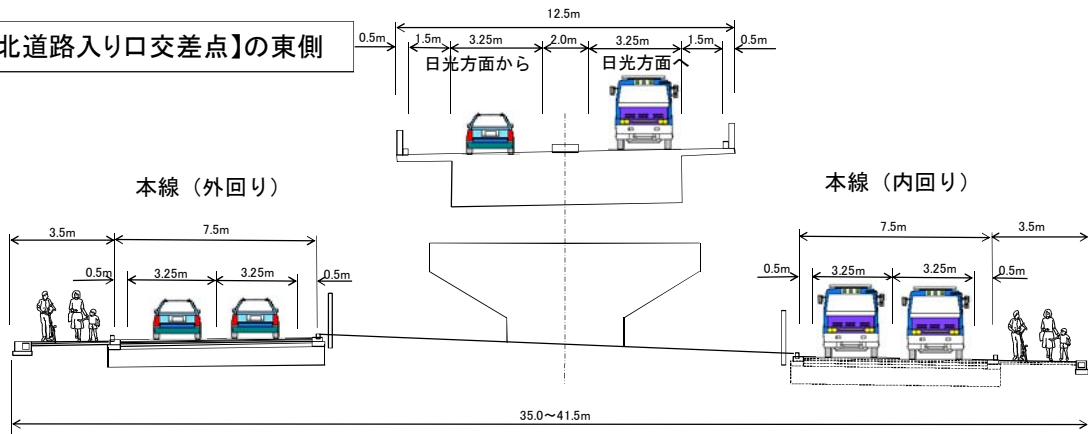


標準横断図

【下川俣交差点】



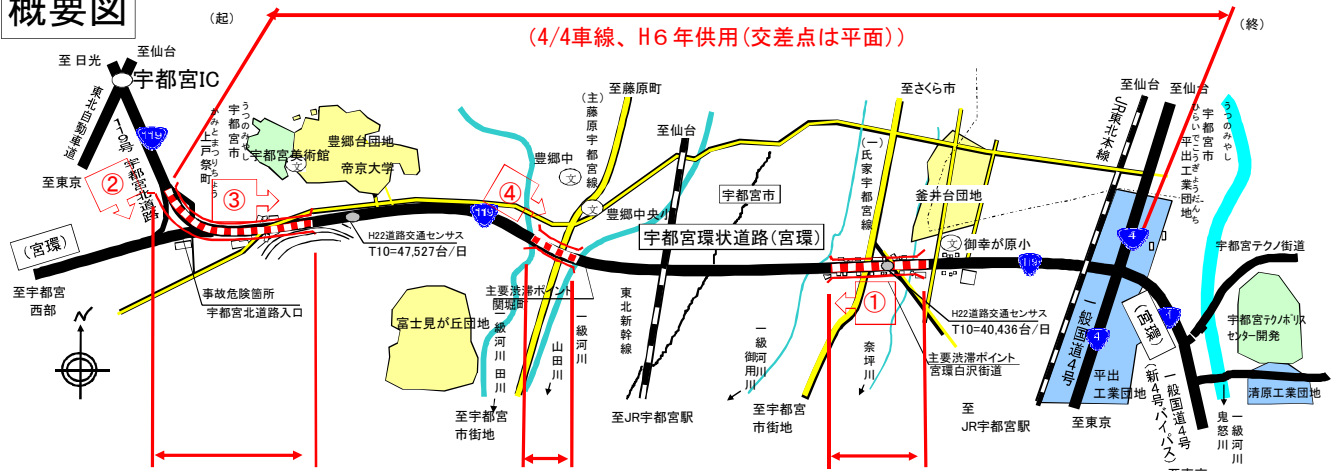
【(仮)北道路入り口交差点】の東側



概要図

一般国道119号 宇都宮環状北道路 L=6.4 km

(4/4車線、H6年供用(交差点は平面))



【(仮)北道路入り口交差点】

L=1.2 km

【関堀交差点】

L=0.3 km

H20年3月立体化供用

【下川俣交差点】

L=1.0 km

凡例
写真撮影位置: ①





①

渋滞の発生状況【下川俣交差点】



③

渋滞の発生状況【(仮)北道路入り口交差点】



②



④

供用区間【関堀交差点】